

「情報公開文書」

研究用

下記臨床研究は「東海大学医学部臨床研究審査委員会」の承認および研究機関の長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。研究対象者から除外させていただきます。但し、そのお申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。なお、同意の有無が今後の治療等に影響することはありません。

自由呼吸下による腹部 Digital Subtraction Angiography 撮影に関する研究

1. 研究の対象

2024年4月1日から2027年9月30日までの間に、当院で腹部の血管造影検査・治療を受けられた方

2. 研究実施期間

(機関の長の許可日) から 2027年9月30日 まで
25,411

3. 研究目的・方法

目的

カテーテルを使用した腹部血管内治療を行う際に、患者さんの負担を軽減させるための、新しい血管撮影方法を検討することです。

方法

この研究は治療終了後にデータを振り返って解析する「観察研究」として行われます。したがって本研究に参加することによって、患者さんが追加の検査を受けることはありません。また、治療の手順が変更されたり、治療時間が伸びたりすることはありません。

- (1) 患者さんは、当院の治療方針に従って最適な治療を受けます。(腹部血管内治療)
- (2) 治療が終わったあとで、治療中に撮影した血管画像を装置より取り出します。
- (3) 取り出した血管画像は、個人情報特定されないよう匿名化されます。病院内の解

析用パソコン内で、最適な画像処理方法を検討します。

- (4) また血管画像は、共同研究機関のシーメンスヘルスケア社にも提供されます。同社の研究開発部門にて画像処理技術の改善に使用します。あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

4. 研究に用いる情報の種類

情報：血管造影検査・治療で得られた DSA 画像

5. 研究組織

上記の情報を共同研究実施のために下記機関に対して提供します。

主な提供方法：電子的配信

共同研究機関および研究責任者名

シーメンスヘルスケア株式会社 小嶋 巖

6. 利益相反に関する事項

この研究はシーメンスヘルスケア株式会社との共同研究として実施されます。利益相反について本学の利益相反マネジメント委員会へ申告し審査を受け、承認を得ています。

7. お問い合わせ先

東海大学医学部付属病院 （電話：代表 0463-93-1121 内線：6631）

研究責任者 画像診断科 橋本 順

問い合わせ担当者 放射線技術科 清水 俊太郎